

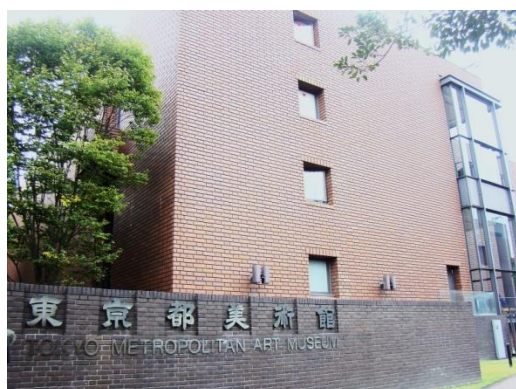
南画院展への出展について

南画院は、昭和21年(1946年)に、新時代の南画の普及と発展を目指して創立され、以来、70数年を経ながら自然や風物とそれらが持つ躍動的な生命感を画面に表すと同時に、気品の高い清らかな心を表現することを目標としてきた伝統ある画壇であります。

出展作品は50～100号の水墨画主体の大形作品が多く、迫力ある作品が展示されております。

出品に至る経緯は、画家中島茂夫氏(南画院無鑑査会員、英国王立美術家協会名誉会員、世界の評論家が選ぶ美の祭典ベストアーティストグランプリ受賞等国际展大賞等受賞多数)の個展(令和2年1月、上野の森美術館)を鑑賞した際、同氏と親しくお話をさせて戴く機会を得たことにより、同氏の推挙により南画院への入会、作品出展となりました。

出展は前年に引き続いて2回目となりますが、前回は、厳冬期の穂高連峰題材の「氷壁」を出展して読売新聞社賞を受賞、厳冬期に登山の経験を活かしての作品でしたが、今回は、ヒマラヤ山峰のジャヌー、カンチェンジュンガの「怪峰」、「五大宝蔵」の名でも知られる名峰を描いて「怪峰ジャヌー」で出展しております。



東京都美術館

会場 東京都美術館(上の公園内)
2階第3展示室(入場無料)
会期 10月24日～30日
午前9時30分～午後5時30分
(最終日のみ午後2時30分閉会、
入場午後2時まで)



展示会場内

作品「怪峰ジャヌー」(ヒマラヤ)
雅号 岳清澄(がくせいちょう)



怪峰ジャーヌー M100号(90×160cm)

中島茂夫氏について

中島氏は、日本を代表する日本画のお一人で、今回の展示会への出展の他、現在、「お江戸日本橋ぎゃらりー」での個展(~29日まで 日本橋 祥ビル8階)、さらに来月23日イタリアのボローニャ美術館での個展を開催される等ご活躍されております。

当初、ボローニャ大学での個展を予定されていたが、同大学学長の計らいで同美術展での開催になったとのことであります。

ボローニャ大学は世界最古の大学として知られております。

今回、出展の作品は、雲間に現れた夕暮れ前の富士を描いたものとのことであり、是非とも本格的な画家の作品を、これを機会に実物で鑑賞してください。



中島氏作品 「奥庭からの富士」M100号